

工作機械向けNCプログラム自動生成

# AIソフト 使い放題



アルムが7月に開始するクラウドサービス「アルムファクトリー365」のメイン画面

## アルム、定額制7月開始

【金沢】アルム（金沢市、平山京幸社長）は、数値制御（NC）プログラムを自動生成する自社開発の人工知能（AI）ソフトウェア「アルムコード」シリーズを、全て基本アプリケーションとして使用できる月額定額サービスを7月に開始する。ライブラリー機能も備え、熟練工のノウハウをデータ化し、情報資産として継承できるようにした。基本使用料は月額1万9800円（消費税抜き）、データ使用料は1ギガ当たり1万5000円（同）。

新サービス「アルムファクトリー365」は、米マイクロソフトのクラウドサービス「アジュール」を利用する。アルムの新サービスは、提供開始時は3軸、5軸のマシニングセンター向けのNCプログラムに対応し、今後、複合旋盤や研削盤向けなど順次対応する機械を追加する。さらに、保有機械のポストプロセッサ対応作業を容易にする編集機能を搭載し、外部委託費を抑えられる。

ライブラリー機能は、自社の加工ノウハウを数値化し保管する。内容は非公開や一部のユーザーとの共有だけに設定できる。また、一般公開してライブラリー当たり5000円（同）で使用者から使用料を取ることでも、自社の売り上げ貢献も見込める。

加工プログラムや加工データの活用以外に、関連する便利な機能として、コンピュータ利用設計（CAD）や工程管理、3次元ライブラリーなど、課題金アプリとして今後追加する。追加にはアルムの審査に合格する必要があるが、IT作業を容易にする編集機能や新機能などが加わることも期待している。